

柔道整復学科カリキュラムポリシー CP（教育課程編成・実施の方針）

柔道整復学科では、本校の「建学の精神」を実現させるために「医学的知識と実践的技術」「協調性とコミュニケーション能力」「問題解決能力」を身につけ効率的にステップアップするため、以下の方針に基づいてカリキュラムを設定している。

- ・科学的思考の基盤、人間と生活について学ぶ基礎科目
- ・医学的基礎と専門的知識を身につける基礎・専門基礎科目
- ・実践的技術、問題解決能力を養い、倫理や道徳を身につける専門科目
- ・協調性とコミュニケーション能力を取得し総合的な実践能力を養う臨床実習
- ・各授業科目に到達目標を明確化し、成績は学科試験、実技試験、レポートなどにより客観的に適切に数量化して評価する。

① 基礎科目

「科学的思考の基盤」に関する科目「生命科学」「健康科学」で人体の構造の基礎とそれを支える栄養について学び、「人間と生活」に関する科目で幅広い視野で健康やその他情報や経営について理解する。「基礎法学」で患者の権利や情報の保護、コンプライアンスについて理解する。

② 専門基礎科目

「基礎医学」に関する科目で「解剖学」「生理学」「病理学」など正常な人体の構造やその機能及び病態や運動の力学特性について幅広く学ぶ。「臨床医学」に関する科目で「一般臨床医学」「整形外科学」等幅広く医学的な疾病や障害の知識を学び、他職種、他業種との連携やチーム医療に携わる素養を築き、柔道整復師としての専門的な知識、技術以外の能力も育成する。

「保健医療福祉」に関する科目で保健、医療、福祉の他業種の役割を学び、「柔道整復の理念」に関する科目として柔道から社会人としての礼節、精神を学び、損傷の機序や予防のための準備、損傷の身体の動きを理解する。

③ 専門科目

専門科目では、「柔道整復学」「柔道整復実技」「臨床柔道整復学」「臨床実習」「KATA（関西運動器傷害研究会講義）」に区分し、その知識、技能を積み上げる形態で配当している。

「柔道整復学」では、日本固有の伝統医学である柔道整復を現代の医学に則した専門的な視点で学び、適切な問題解決の能力を育成する。

「柔道整復実技」では柔道整復学で学んだ知識を実技実習の中でシュミレーションして臨床治療能力や患者対応能力を育成する。

「臨床柔道整復学」では、実質的な治療を模擬的学び実践することができる素養を育成し「柔道」を通して自身の健康を増進し倫理や道徳を身につける。

実習の基礎として身体への影響、トレーニング指導などスポーツ現場で求められる知識、技能を「KATA（関西運動器傷害研究会講義）」で学び、スポーツ損傷、コンディショニングのスペシャリストを育成する。

「臨床実習」では、「学内実習」「救護実習」「トレーナー実習」と多様なケースを設け、現場で学び、技能を実践し、臨床的な能力を獲得する。

※KATA (関西運動器傷害研究会) とは

(kansai Athletics Training Association)

スポーツ障害を中心に運動器障害に対して的確な予防、適切な予後指導ができるトレーナーとなるために、スポーツ障害・運動器疾患を学ぶことを目的とする学術研究会